

第2部第2章 子ども・子育て支援施策の具体的な展開

資料4（2）

担当課評価について

◎	・ 抜群に効果的な取組を行った（明解な理由を付してください） ・ 想定以上の成果を上げた	0
○	・ 効果的な取組を行った ・ 一定の成果を上げた ・ 大きな課題や問題点はない	134
△	・ 一部の取組を行った ・ 多少の成果を上げた ・ 課題や問題点がある	4
×	・ 取組を行わなかった ・ 取組を行ったが成果は上がらなかった ・ 大きな課題が残った	1
—	・ 事業終了 ・ 今年度該当なし ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	9

区分の表記について

次世代	青梅市次世代育成支援地域行動計画から継承する事業
子・若	青梅市子ども・若者計画
貧困対策	青梅市子どもの貧困対策計画

1 子どもが伸びやかに育つまちづくり

(1) 子どもが安心して楽しく過ごせるまちづくり

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和5年度時 主な担当課名
1	福祉のまちづくりの推進	次世代	「青梅市福祉まちづくり整備要綱」および「東京都福祉のまちづくり条例」にもとづき、施設、歩道、公園などのバリアフリー化を進めます。	都の補助金が令和3年度で終了のため、主な改修には至らなかったが、バリアフリー化が進んでいない施設等へ改修を働きかける。	—	地域福祉課
2	福祉マップの改定	次世代	①平成22年度に作成した福祉マップを保護者の視点を参考に、必要に応じ改定します。 ②次期改定時に、福祉マップのホームページ化を検討します。	他自治体や他団体のホームページを参照したりして、掲載内容の確認はしたが、実際の改定やホームページへの掲載方法の関係各課との調整を行うことはできなかった。	×	地域福祉課
3	有害環境対策の推進	次世代 子・若	事業者や地域住民とも連携し、性や暴力などの子どもに対する有害情報の自主的規制を推進します。	ビデオソフト販売店およびレンタルビデオ店経営者4件に対し、子どもに対する有害情報の自主的規制を依頼しました。	○	子育て応援課
4	子どもの交通事故や災害被害のないまちづくりの推進	次世代 子・若	①警察等と連携し、交通安全総点検を実施して、通学路の安全確保に努めます。 ②子どもに対する交通安全教育の充実を図ります。 ③幼児・児童用自転車ヘルメット購入費の助成を実施します。	①交通安全総点検を実施し、通学路の安全に努めました。 対象校：第一小学校（11/17）、第三小学校（10/31）、第五小学校（2/20）、第六小学校（2/8）、第七小学校（1/22） （交通政策課）（都市整備部管理課）（土木課）（学務課） ②小学生、中学生を対象に交通安全教室を実施し、自転車の交通ルール・マナーを学び、交通安全の徹底を図りました。 ・青梅市自転車運転免許証交付事業 対象：小学3年生（市内小学校16校） ・自転車安全教室（スケアード・ストレイト） 霞台中学校、西中学校、第六・第七中学校（交通政策課） ③幼児・児童用自転車ヘルメットを事業協力店で購入しようとする保護者に対し、ヘルメット1個につき2,000円の助成を実施しました。また10月からは全年齢に対象を拡大し、自転車ヘルメットの普及を図り、交通事故の防止および交通事故による被害の軽減に寄与しました。（交通政策課）	○	交通政策課 都市整備部管理課 土木課 学務課

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和5年度時 主な担当課名
5	子どもを犯罪等の被害から守るまちづくりの推進	次世代 子・若	①通学路などに街路灯などの整備を図ります。 ②子どもや保護者に対して犯罪等に関する情報提供を速やかに行うとともに、全校でのセーフティ教室などを行います。 ③防犯パトロールや「子ども110番の家」など、防犯ボランティア活動を促進します。	①青梅市管理の街路灯はLED灯に整備済みです。また、必要に応じて街路灯を設置しました。（都市整備部管理課） ②不審者等に関する情報について速やかに周知するとともに、全小中学校でセーフティ教室を実施しました。（指導室） ③学校、保護者で組織する「子ども安全ボランティア」の防犯パトロールにスクールガードリーダーが同行し、防犯活動の支援を行いました。なお、新型コロナウイルス感染症の影響は減少し、各小学校における地域巡回活動数は、前年度より増加しました。「子ども110番の家」については、登録者アンケートを実施し、その結果を教育委員会ホームページで公表するとともに、新規登録の受付、表示旗の一部更新を行い、令和6年3月31日現在の登録件数は1,941件でありました。（教育総務課） ③各地区の自主防犯組織において、防犯パトロールおよび啓発活動を行いました。（市民安全課）	○	市民安全課 子育て応援課 都市整備部管理課 教育総務課 指導室
6	子育てにやさしいまちづくりの推進	次世代 子・若	子育て世帯の定住や転入を促すため、子育て世帯への入居支援と合わせて、その受け皿となる良質な住宅の供給に努めます。	市営住宅の空き室募集を行い、入居した7世帯のうち、1世帯が子育て世帯でした。 また、例年と同様に東京都が実施している「東京都子育て支援住宅認定制度」の情報発信や「子育てに配慮した住宅のガイドライン」の周知を図りました。 市営住宅は老朽化した住宅の用途廃止のための移転先確保等の理由により、数年前に比べ募集戸数を大幅に減らしていますが、ニーズに応じて可能な限り供給に努めます。	△	住宅課
7	公園・緑地、児童遊園の活用	次世代 子・若	都市公園、児童遊園の定期的な施設の点検・清掃、遊具の更新などの管理を行います。	都市公園、児童遊園等については、利用者の安全・安心および快適な利用環境を確保するため、清掃業務、樹木手入れ業務、設備保守点検業務および遊具施設等点検業務などの管理業務を実施した。 また、上記業務の中で公園施設の不良箇所が確認されたものについては、随時修繕等を実施し快適な利用環境の確保に努めた。 さらに、公園施設長寿命化計画に沿った取り組みとして、公園の遊具の一部について更新を行った。	○	公園緑地課
8	公園・緑地内の緑地管理ボランティア育成	次世代 子・若	公園・緑地内の緑地を管理するボランティアの育成を図ります。	①緑地管理ボランティア… 新型コロナウイルスによる令和2年度からの活動休止後の再開第一弾として、後述の1月20日（土）に実施した大塚山いこいの森ボランティアにてネイチャークラフト教室の運営補助を行った。 3月1日（金）には、青梅市役所にて意見交換会を実施し、令和6年度の活動の本格開催に向けて活動計画について協議した。 新たな会員の募集により2名が会員に加わり、活動等を通じてボランティアの育成を図った。 ②大塚山いこいの森ボランティア… 1月20日（土）に第四小学校体育館にて「ネイチャークラフト教室（自然の素材を使った工作体験）」を実施し、四小・自治会等・緑地管理ボランティア会員合わせて53名の参加があった。 ※当初予定していた大塚山公園での樹木への名札付け作業は雨天中止 ③青梅の森柚保プロジェクト… 柚保プロジェクト会議における意見交換や、青梅の森でのカシナガファイトラップ調査、ヨシ狩り、風の子太陽の子広場再整備に伴う自然環境調査を協働により行うことで、ボランティアの育成を図った。	○	公園緑地課
9	自然環境を生かした子育て環境づくり	次世代	恵まれた自然環境の中で、子どもたちが集い、遊び過ごせる場所づくりを検討します。	公園において、子供たちが安心して自然にふれ合えるよう園路および植栽等の管理作業を実施した。風の子太陽の子広場再整備により、滑り台や観水施設を新設した。（公園緑地課）	○	公園緑地課 子育て応援課
10	子育て支援事業の拡充	次世代 子・若	市民センターなどを会場にした子育て支援事業を拡充するとともに自治会館などの既存施設の活用を拡大を図ります。また、ボランティアの協力を受けながら運営の充実を図ります。	市民センター等9か所において、子育て支援事業を実施しました。また、NPOに委託し、未就学児と保護者を対象とした子育て支援に関する講座「親子スキップ教室」を8か所8回ずつ実施しました。（参加者不足のため、1か所開催中止）	○	子育て応援課

(2) 「生きる力」を育む教育の推進

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和5年度時 主な担当課名
11	就学前教育の充実	次世代 子・若	市民センターや体育館などにおいて、地域の実情に応じ、幼児のための教室を設け、学習機会を提供します。	指定管理者自主事業として登録制教室「運動知育（すくすくクラス、わくわくクラス）」を実施しました（参加者延べ554人）。（スポーツ推進課） 子育て支援に関する講座「親子スキンシップ教室」を8か所8回ずつ、実施しました。（参加者不足のため、1か所開催中止） 乳幼児向け体験イベント「あつまれ！0・1・2・3ちびっこ☆ランド」を実施しました。（参加者延べ51人）（子育て応援課）	○	子育て応援課 スポーツ推進課
12	学ぶ意欲と基礎学力の向上	次世代 子・若	①教師の研究活動や研修の充実を図り、楽しい授業、分かる授業のできる教師の育成を図ります。 ②授業日数の弾力化により授業時数の充実を図ります。 ③登録制度などを活用し、市民講師による、実体験にもとづいた興味をもてる授業の充実を図ります。 ④学校図書館の充実とともに読書活動の充実を図ります。 ⑤小・中学校一貫教育により、9年間を通じた指導の充実を図ります。 ⑥東京都の補助事業を活用した学力向上施策の実施により、児童・生徒に基礎・基本の習得を図ります。	①ICT活用推進委員会や各研修会等を実施し、授業改善を推進しました。 ②各学校経営方針にもとづき、実態に応じた授業日数を確保しました。 ③地域の人材を活用した外部講師による授業を実施しました。 ④学校図書館司書や学校図書館ボランティア等の活用を図りました。 ⑤各中学校区のめざす児童生徒像を設定し、研修等をととして指導の充実を図りました。 ⑥放課後の補習として「ステップアップクラス」や中学校3年生を対象とした受験対策として「スタディ・アシスト」を実施し、学習習慣および基礎学力の定着を図りました。	○	指導室
13	情報化や国際化に対応した学校教育の充実	次世代 子・若	①コンピュータを活用した教育の充実や、AET（教員と協力して英語指導を行う外国人）の活用を進めます。 ②AETを各小・中学校に派遣し、英語指導・国際理解教育の充実を図ります。	①国のGIGAスクール構想に基づき、児童・生徒に配付した一人一台の学習用端末を効果的に活用するとともに、電子黒板を整備するなどICT教育の推進を図りました。 ②AETを派遣し、教員への研修や児童・生徒への英語指導、国際理解教育の充実を図りました。	○	指導室
14	児童・生徒への健全育成教育の充実 (再掲No.43)	次世代 子・若	①教育相談の充実を図ります。 ②市いじめ防止条例の制定により、いじめの未然防止と対応を図ります。 ③いじめのない学校づくりを進めるとともに、不登校対策の充実を図ります。 ④規則正しい生活習慣と食に関する指導の充実を図ります。 ⑤総合的な学習の時間を活用し、乳幼児など異なる世代との交流を進めます。 ⑥小・中学校一貫教育を通して、継続した生活指導の充実を図ります。	①教育相談所内研修により心理相談員の資質を高め、相談体制の充実を図っています。（学務課） ②青梅市いじめ防止マニュアルを児童・生徒に配布し、いじめの未然防止に向けての啓発を行いました。（指導室） ③学校いじめ防止対策の年間計画を学校ホームページに掲載し、保護者地域の理解を得ながら、アンケートや研修等をととして未然防止、早期発見、早期解決に努めました。また、毎月、長期欠席児童・生徒調査を実施し、関係諸機関と連携しながら早期対応および継続的な支援に努めました。（指導室） ④生活指導主任会や健康・体力推進委員会等において、各学校の取組について情報交換を行いました。（指導室） ⑤各学校において様々な世代と工夫して交流を図りました。（指導室） ⑥中学校区で共通のテーマを設定して連携した取組を行い、継続的な生活指導の充実を図りました。（指導室）	○	学務課 指導室
15	学校の教育施設・設備の充実	次世代 子・若	①校舎等の非構造部材耐震化により、防災対策の充実を図ります。 ②トイレなど、学校の教育環境の整備に努めます。 ③学校のバリアフリー化に努めます。	①ガラスの飛散防止や家具等の転倒防止の対策など、いわゆる非構造部材の耐震化について、小・中学校13校の屋内運動場の非構造部材耐震化設計を実施しました。今後も計画的に取り組んでまいります。 ②トイレについては、第六小学校、第七小学校、今井小学校、第七中学校において大規模改修工事を実施しました。その他、小規模ながら環境整備の工事を実施しております。 ③トイレ大規模改修工事に合わせ、各階に車椅子で使用できるトイレを整備しました。（施設課・教育総務課）	○	施設課 教育総務課

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和5年度時 主な担当課名
16	地域と連携した開かれた学校づくり	次世代 子・若	①開かれた学校づくりを推進し、保護者・市民の教育への関心を高め、学校ボランティア活動への参加を促進し、地域の教育力を活用した学校教育の充実を図ります。 ②校庭や空き教室の活用など、開かれた学校づくりを進めます。	①教育ボランティアとして、312名の登録があり、図書整備や登下校見守り、環境整備等で活用されました。また、青梅型コミュニティ・スクールを新たに5校で導入するとともに引き続き令和7年度の全校導入に向けて準備を進めました。地域の学校運営参画・学校支援・学校評価を一体的に推進しました。（指導室） ②校庭や空き教室等を活用して、放課後子ども教室を16校で実施しました。延べ参加者数は20,112人でした。（子育て応援課）	○	指導室 子育て応援課
17	地域の教育力の向上	次世代 子・若	①青梅ボランティア・市民活動センターと連携し、学校ボランティア、教育ボランティア活動の充実を図ります。 ②図書館ボランティアとの協働等によるおはなし会の開催など、読書活動の充実を図ります。 ③地域の人材を発掘し、身につけた知識・技術などを広げていくため、人材登録制度を実施します。	①市内小中学校からの依頼に対し、青梅ボランティア・市民活動センターが小中学校でボランティア体験講座等を6回実施した。（市民活動推進係） ①中学生によるボランティア活動の体験を支援する「夏のアドベンチャー体験」を小曾木・成木地区の青少年対策委員会とともに実施しました。延べ参加人数は90人でした。（小曾木・成木C共催） ②「おはなし会」を4月～3月（8、11月を除く）に計10回実施しました。延べ参加人数は101人でした。（長淵C） ②おはなし会（中央（37回）、梅郷（3回）、新町（2回）、今井（12回）、青梅（12回）、第二小（4回）、第四小（11回）、第五小（8回）、河辺小（11回）、藤橋小（7回）、若草小（12回）、霞台小（6回）、吹上小（2回））を図書館ボランティアと協働で実施しました。（社会教育課） ③人材登録制度に個人登録が累計42人、団体での登録累計が1団体ありました。（社会教育課）	○	市民活動推進課 社会教育課
18	体験的な学習の充実	次世代 子・若	①森や河川を利用し、多様な自然体験活動の機会を提供します。 ②野鳥講座を継続して実施します。 ③伝統文化体験、工作・手芸体験、異年齢集団による活動体験等、多様な体験機会の充実を図ります。	①おうめ水辺の楽校運営協議会による事業として、5月から10月にかけて、多摩川や霞川において7回の親水事業を実施した。のべ参加人数382名。（環境政策課） ①「夏のアドベンチャー体験」を小曾木・成木地区の青少年対策委員会とともに実施しました。延べ参加人数は90人でした。（小曾木・成木C共催） ①青梅市青少年対策第八支会地区委員会事務局として「霞川清掃」を開催した。（参加者約300名・東青梅C） ①「梅郷ホテルウォッチング」の開催をし自然体験を行った。参加人数30人（梅郷C） ②新町ウォーク（野鳥講座）を実施した。参加者19人（新町C） ③青少年対策梅郷地区委員会と共催し「梅郷子ふれあい塾」を企画開催した。青梅武州三田弾正手作り甲冑隊の皆さんに講師になっていただき兜を作成。青梅の伝統文化を体験した。その後、青梅在住の講師を招き星空観察を行った。参加人数34人（梅郷C） ③小学生を対象とした「やさしく楽しいマジック体験」（延べ56人参加）を実施しました。（長淵C） ③青少年第二支会委員会事務局として「ポッチャ体験教室」の開催を支援しました。（長淵C） ③手作りの楽しさ、伝統工芸の奥深さを知ってもらう「紙すき体験教室」を実施しました。参加人数8人。（今井C） ③農業・食育体験教室、青少年リーダー育成研修会で野外活動などを実施、延べ参加人数は676人でした。（社会教育課） ③共催展「アートビューイング西多摩2023“アート”を俯瞰する」の関連イベントとして、西多摩地域の小学校にアーティストが赴き実技講座を実施し、講座で児童が創作した作品の展示会を開催しました。（文化課）	○	農林水産課 社会教育課 市民活動推進課 環境政策課 文化課
19	交流、文化・芸術、スポーツ・レクリエーションなど多様な活動支援	次世代 子・若	「青梅市スポーツ振興基金」による援助・表彰、市民体育大会などの実施、体育施設や運動広場、学校体育施設の開放などを行い、多様な活動を支援します。	青梅市スポーツ振興基金条例にもとづき、援助および表彰を行った。（援助16件、表彰125名）。スポーツ施設や運動広場、学校体育施設の開放などを通して、市内団体の活動を支援した。（スポーツ推進課）	○	文化課 スポーツ推進課
20	ジュニアスポーツ教室の開催	次世代 子・若	体を動かす楽しさを知り、スポーツへの関心を高めるために、各種スポーツの紹介、体験機会の提供を行います。	各教室計4回ずつ実施し、バスケットボール教室97人、バレーボール教室110人、バドミントン教室188人、ビーチボール教室84人、テニス教室97人、フットサル教室175人、卓球教室87人、ソフトテニス教室150人が参加し、小学生のスポーツへの関心を高め、体験を通し、スポーツへの興味や親しみを持ってもらうことができた。	○	スポーツ推進課
21	家庭教育講座の充実	次世代 子・若	①その時々々の情勢にあった講座を計画し、保護者への学習機会の提供、充実を図ります。 ②子どもの体験機会の充実に向けて、親の体験講座の充実を図ります。	①家庭教育講演会を3回実施し、延べ参加人数は94人でした。	○	社会教育課
22	親と子の交流事業の推進	次世代 子・若	①親と子どものための体験事業の充実を図ります。 ②農業委員の指導のもと、親子農業体験会を実施します。	①親子農業体験会について、田植え体験を6月17日、稲刈りを10月14日に実施し、20組61名の参加があった。稲刈りで、161kgの米を収穫した。（農業委員会） ②農業・食育体験教室を実施しました。（No.18体験的な学習の充実と重複）（社会教育課）	○	農業委員会 社会教育課
23	青梅市青少年健全育成団体登録事業	子・若	登録された青少年健全育成団体の情報を市民に提供します。また、市民センター体育館等の各施設使用料の免除制度を適用させることにより、青少年が成長段階に応じて様々な体験活動ができる環境の整備を図ります。	青少年健全育成団体の登録を適正に実施し、計85団体（会員数計2,310名）の登録を行いました。	○	子育て応援課

(3) 子どもの人権の尊重

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和5年度時 主な担当課名
24	児童の人権に関する理解の普及・啓発	次世代 子・若	①ポスター・チラシの配布等の普及・啓発活動を継続します。 ②教員対象の研修会、情報の提供および広報活動の充実を図ります。 ③広報や子育てモバイルなどを活用し、市民に対する情報提供および広報の充実を図ります。	①児童虐待防止等、児童の人権に関する啓発用ポスターの掲示および、幼稚園、保育園、小学校、中学校を通じて配布し、児童・生徒および保護者へ周知しました。（子育て応援課） ②年間5回の人権教育推進委員会を開催し、人権教育のについての充実を図るとともに、各校1名が東京都が指定している近隣地区の人権教育推進校の研究発表に参加し、研究成果を共有しました。（指導室） ③広報や市ホームページ、子育てアプリを利用し、広く情報提供しました。（子育て応援課）	○	子育て応援課 指導室
25	個性を認め合う人権意識の醸成	次世代 子・若	①人権を大切にする心を養う教育の徹底を図ります。 ②児童虐待やいじめ、差別などの問題への取組を通して、人権教育を進めます。 ③人権の花運動を通じ、人権尊重思想の普及・啓発を図ります。	①各学校において、人権教育全体計画および年間指導計画を踏まえ計画的に人権教育を推進した。（指導室） ②都や市が開催する人権教育に関する研修に教職員を参加させるとともに、各学校で年間3回以上のいじめに関する授業や研修を実施した。（指導室） ③人権の花運動を通じて思いやりの心を育み、人権尊重への理解を深め、豊かな人権感覚を身に付けてもらうよう啓発を図りました。 実施校：第五小学校、第六小学校（市民安全課）	○	指導室 市民安全課
26	子どもの視点に立った取組	次世代 子・若	子ども議会やアンケート調査など、様々な事業において子どもの視点・意見を反映する取組を進めます。	青梅市の将来を担う小・中学生からの意見を今後の市政運営に反映させるため、複数のテーマを設定し、オンライン交流会を小学生、中学生それぞれ開催した。 将来を担う若者たちが、様々なテーマについて、プレゼンテーションし、市長等との意見交換を通じて、市政運営に対し、興味・関心をもってもらうとともに、若者の声を市政運営に反映させることを目的として、都立青梅総合高校の生徒と市長との意見交換会を開催した。（企画政策課）	○	企画政策課 子育て応援課
27	子どもの相談体制の充実	次世代 子・若	①教育相談所の心理相談員による来所相談や電話相談を実施します。 ②子ども相談窓口を充実し、相談しやすい体制づくりを進めます。	①教育相談所で来所相談を630件、電話相談を28件実施しました。（学務課） ②こども家庭センター職員対象の研修に参加し、相談体制の強化を図りました。また、関係機関や子どもに対し子どもの話を聞くことができることを案内しました。（こども家庭センター）	○	学務課 指導室 こども家庭センター
28	青少年専門相談の充実	次世代 子・若	青少年のかかえる多様な問題を関係機関へつなげるにより、その問題に関する相談の充実を図ります。	相談内容を確認し、東京都教育相談センター等、関係諸機関へつなぎました。（学務課） 各種相談場所の連絡先を掲載した青少年健全育成チラシを作成し、小中学校の各児童生徒や関係行政機関への配布、および自治会回覧等により周知した。（子育て応援課）	△	学務課 指導室 子育て応援課
29	スクールカウンセラーの配置	次世代 子・若	全中学校にスクールカウンセラーを配置し、教育相談の充実を図ります。	小学校5年生、中学校1年生全員に対する面接を行うとともに、関係機関と連携し、教育相談の充実を図りました。	○	指導室
30	スクールソーシャルワーカー活用事業の導入	次世代 子・若	市専属のスクールソーシャルワーカーの配置により教育相談体制の充実を図ります。	3人のスクールソーシャルワーカーが家庭訪問などを通して、登校支援を行いました。	○	指導室
31	いじめ、不登校、児童虐待などへの取組	次世代 子・若	①教員研修や教育相談活動の充実を図るとともに、教育相談所と連携し、学校への心理相談員の派遣やスクールカウンセラーの配置を充実し、いじめや不登校などの問題に取り組みます。 ②要保護児童対策地域協議会を中心として、各関係機関が連携した取組を進めます。 ③小・中学校一貫教育を通して、小学校から中学校へ進学する際に、1人ひとりの個性を活かした対応を図ることで安心の向上に努めます。	①学校からの要請によりケース会議等に心理相談員を5回派遣しました。（学務課） ①全小・中学校へのスクールカウンセラーの配置を継続し、校内委員会等で助言してもらうなどしました。（指導室） ②要保護児童対策地域協議会代表者会議を1回、実務者会議を4回、個別ケース検討会議を51回実施しました。 また、必要に応じ関係機関と迅速な連携を行いました。（こども家庭センター） ③小・中学校一貫教育を推進していく中で、小学校から中学校への引き継ぎが円滑に行えるようにしました。（指導室）	○	学務課 指導室 こども家庭センター

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和5年度時 主な担当課名
32	教育支援センター (旧適応指導教室) の設置 (ふれあい学級) (再掲No.127)	次世代 子・若 貧困対策	①不登校の状態にある児童に対して、 学校復帰を目指した指導や、ふれあい学級への入級を推進します。 ②ふれあい学級に通学している児童・生徒に対して、在籍校への復帰支援を行います。	①学校・登校支援室・教育支援センター等が連携し、不登校状態にある児童・生徒に対して、望ましい環境が提供できるよう支援を行いました。 ②教育支援センターの経験豊富な指導員による指導を通じて、在籍校への復帰支援を行いました。	○	指導室
33	教育相談研修の充実	次世代 子・若	教育相談所と連携し、教員研修の充実を図ります。	青梅市学校教育相談推進協議会を学校教育相談研修と合わせて年間1回実施し、教育相談研修の充実を図りました。	○	指導室
34	児童の健全育成	次世代 子・若	①青少年対策各地区委員会の事業を支援していきます。 ②関係各課、機関等との連携を図り、性の逸脱行為や少年非行等の防止の支援を行います。	①青少年対策事業補助金を市内11地区の青少年対策地区委員会に交付し、各地区委員会が実施する事業を支援しました。 (子育て応援課) ①青少年対策各地区委員会が行う事業を事務局として支援しました。(各市民センター) ①②「ジャガイモ掘り体験」、「チョークアート教室」、「ポッチャ体験会」、「天体観測会」を支援しました。(河辺C) ①②「親子じゃがいも掘り体験」、「さつまいも掘り体験」、「ポッチャ体験会」を支援しました(新町C) ①②青少年対策青梅地区委員会を事務局として、青少年の健全育成の推進を目的とした青梅っ子わいわいフェスタ等の事業を支援しました。(青梅C) ①青少年対策青梅地区委員会を事務局として、青少年の健全育成の推進を目的とした「梅郷子ふれあい塾・兜作成・星空観察」「ポッチャ体験会」「クリスマスリース作り」を支援した。(梅郷C) ②地域の「防犯パトロール」等を小中PTAや安全を守る会と連携し、事務局として支援しました。(梅郷C・小曾木C) ②青少年の健全育成の推進を目的とした講演会を開催機関等と連携を図り開催した。(梅郷C) ①②青少年対策第八支会地区委員会事務局として、「霞川清掃」、「ポッチャ体験会」を支援しました。また、青少年健全育成チラシの作成・配布に対する支援をしました。(東青梅C) ①②青少年対策第11支会地区委員会事務局として、社会を明るくする運動と連携し青少年防犯映画の上映と講演会を開催。『動物ふれあい祭り』や『ポッチャ体験会』を実施しました。(今井C) ② 青少年問題協議会および補導連絡会をそれぞれ2回開催し、関係機関等の情報交換を行いました。(子育て応援課)	○	子育て応援課 市民活動推進課
35	青少年問題協議会等の開催	子・若	問題青少年の保護および指導ならびに矯正に関し協議、また、委員相互が情報交換することにより、青少年健全育成の推進を図ります。	青少年問題協議会および補導連絡会をそれぞれ2回開催し、関係機関等の情報交換を行いました。 夏・冬・春の各休み前のしおりや青少年健全育成チラシを作成し、配布しました。 青少年健全育成環境整備対策として、市内レンタルビデオ店、カラオケ店、ゲームセンター、コンビニエンスストア、パチンコ店などに青少年の非行防止と健全育成について協力を依頼しました。	○	子育て応援課
36	子ども・若者育成支援強調月間等における周知啓発事業	子・若	子ども・若者育成支援強調月、青少年の非行・被害防止全国強調月間において、周知・啓発を行い市民が理解を深め、さらに関係機関・団体と地域住民等とが相互に協力・連携して、青少年の規範意識の醸成および有害環境への適切な対応を図る取組を集中的に実施することにより、次代を担う青少年の健全な育成を図ります。	非行・被害防止全国強化月間(7月)と秋のこどもまんなか月間(11月)では、広報等で市民へ周知するとともに、横断幕の掲出(市内3か所)を行いました。 また、青少年健全育成環境整備への対策として、市内レンタルビデオ店、カラオケ店、ゲームセンター、コンビニエンスストア、パチンコ店などに青少年の非行防止と健全育成について協力を依頼しました。	○	子育て応援課

(4) 子どもの地域での活動を応援するまちづくり

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和5年度時 主な担当課名
37	地域や社会に関する 学習機会の充実	次世代 子・若	①学校教育や社会教育を通して、子どもや女性、市民の権利や、市民の義務などについての学習を充実します。 ②地域での体験学習機会を増やし、学校・家庭・地域が一体となった教育、地域の将来を担う人材の育成を行います。 ③子ども会活動の支援を行います。	②「柔道寒稽古（参加者38人）」「剣道寒稽古（参加者21人）」の開催を支援した。（梅郷C） ②「ホテルふやしたい実行委員会」を立ち上げ、小曾木地区の青少年による初夏のホテルとの保護の啓発活動を行いました。 延べ参加人数は67人でした。（小曾木C） ③小学生を対象とした「やさしく楽しいマジック体験」（延べ56人参加）を実施しました。（長淵C） ②地域の体験学習の機会として、「夏のアドベンチャー体験」を小曾木・成木地区の青少年対策委員会とともに実施しました。 延べ参加人数は90人でした。（小曾木・成木C共催） ②第八支会自治会長による「子どもたちに地域の歴史と文化を伝える会」（小中学校への出張授業・資料提供）の開催を支援しました。（四小・霞台小・霞台中・吹上中）（東青梅C） ②親子で参加できるジュニアリーダー講習会「Challenge!! スポゴミ2023」を実施しました。（5月・24人）（東青梅C） ②小学5年生を対象に、市内御岳エリアを中心に、地域の自然や伝統・文化等について学習する「青梅学」を実施しました。 また、地域の人材をゲストティーチャーとして迎えて行う体験的な学習も実施しました。（指導室） ③子ども会の事業に対して、地域での体験学習機会を支援するため青少年健全育成備品の貸出しをできるよう整備しました。（社会教育課）	○	指導室 社会教育課 市民活動推進課
38	地域コミュニティ活動への子ども参画促進	次世代 子・若	①清掃やリサイクルなどの地域維持活動やイベント、福祉ボランティア活動などへの子どもの参画機会の充実を図ります。 ②子どもへの広報を拡充し、子どもの自主的な参画を促進します。	「子どもふれあいフェスタ2023」が、文化交流センターで開催された。（参加者延べ1,075人） 運営にあたっては、子ども達が参画した。 開催費用について、同実行委員会に補助金を交付した。	○	子育て応援課
39	子どもの祭り・イベントづくり	次世代 子・若	①祭りやイベントに、子どもが参加できる機会の充実を図ります。 ②青梅市全体で子どもと大人が仲良くふれあえるような楽しいイベントを検討します。	①②「長淵地区文化祭」で子供たちの演技披露や消火器体験などを行い、地域交流・世代間交流を図りました。（11月、1,377人参加）（長淵C） ①ホテルウォッチングを開催した。（参加者30人）（梅郷C） ①②市民運動会（10/8参加者のべ800人）、梅郷地区文化祭（11/5参加者のべ600人）を開催し、イベントに子供が参加して大人とふれあえるようにした。（梅郷C） ②青梅市全体で行った親子ふれあい事業ポッチャ大会に参加チームをだし、青少年対策委員会で事業運営に協力した。（梅郷C） ②第八支会ハイキングを実施しました。（11月、参加者32名）（東青梅C） ①小曾木スボレクフェスタ（10月、約400人参加）を開催した。 また、小曾木まつりとの合同開催で小曾木地区文化祭（11月、約560人参加）を開催した。（小曾木C） ・第九支会納涼盆踊り大会を開催（約1,200人参加）した。（新町C） ①②・文化展（10月、約430人参加）を実施するとともに、第11支会事務局として夏祭り・花火大会（7月、約600人参加）支援し、第11支会体育振興事業事務局として、スポーツイベント（10月、約200人参加）と市民ウォーキング（1月、138人参加）を支援しました。（今井C） ①三田地区スポーツの日（9月）に、子どもから高齢者まで幅広い年齢層が参加できるファミリーゴルフ大会を開催し交流を深めた。また、総合文化祭（11月）において、保育園児、小中学生の作品出品の機会を設けた。（沢井C） ②青梅市全体で行った親子ふれあい事業ポッチャ大会に、青少年対策委員会で事業運営に協力した。（大門C） ①生涯学習フェスティバル～釜の淵新緑祭2023～を開催し35事業を実施、延べ参加人数は2,003人でした。（社会教育課） ①子育て支援および子どもたちの健全育成を図るため、「子どもふれあいフェスタ2023実行委員」に補助金を交付し、文化交流センターにて実施しました。（参加者延べ1,075人）（子育て応援課）	○	社会教育課 市民活動推進課 子育て応援課

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和5年度時 主な担当課名												
40	子どもの居場所づくり 《再掲No.90》	次世代 子・若	子育て支援事業で、放課後・週末などの児童の居場所づくりを目指し、拡充を進めます。	項目名：各市民センターにおける子育て支援事業利用人数 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>3,815</td><td>441</td><td>1,626</td><td>2,353</td><td>2,679</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	3,815	441	1,626	2,353	2,679		○	市民活動推進課 子育て応援課
				R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度									
3,815	441	1,626	2,353	2,679														
居場所として、市民センター等9か所における子育て支援事業や、子育て支援センター等18か所で子育てひろば事業を実施した。（子育て応援課） 子育て支援事業の実施に際し、会場の提供、物品の保管場所の提供をした。（市民活動推進課）																		
41	中高生の居場所づくり	次世代 子・若	①総合体育館の個人開放事業を継続します。 ②中高生の居場所づくりに取り組みます。	①個人開放事業を継続して実施しました。（スポーツ推進課） ②子育て支援センターは18歳まで利用可能であり、コロナ禍にて行っていた乳幼児中心の利用については、コロナ禍終了に伴い、従前に戻すことで中高生でも利用可能にした。（子育て応援課）	○	スポーツ推進課 子育て応援課												
42	職業意識や能力の向上の支援	次世代 子・若	①中高生の職業体験機会の充実などにより、自分で自分の進路を選択する力を身につけるキャリア教育の充実を図ります。 ②関係機関や団体と連携し、高校生や若者の職業能力向上の機会の充実を図ります。	①中学校2年生を中心に、各校で職場体験学習を実施しました。また、中学校1・2年生では、授業において職業調べ、発表、職業講話等のキャリア教育を実施しました。（指導室） ②ハローワーク青梅と共催で若年者対象の複数の企業と面接ができる合同就職面接会を実施した。（商工業振興課）	○	商工業振興課 指導室												

(5) 子どもの健全な成長への支援

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和5年度時 主な担当課名																								
43	児童・生徒への健全 育成教育の充実 (再掲No.14)	次世代 子・若	①教育相談の充実を図ります。 ②市いじめ防止条例の制定により、いじめの未然防止と対応を図ります。 ③いじめのない学校づくりを進めるとともに、不登校対策の充実を図ります。 ④規則正しい生活習慣と食に関する指導の充実を図ります。 ⑤総合的な学習の時間を活用し、乳幼児など異なる世代との交流を進めます。 ⑥小・中学校一貫教育を通して、継続した生活指導の充実を図ります。	①教育相談所内研修により心理相談員の資質を高め、相談体制の充実を図っています。（学務課） ②青梅市いじめ防止マニュアルを児童・生徒に配布し、いじめの未然防止に向けての啓発を行いました。（指導室） ③学校いじめ防止対策の年間計画を学校ホームページに掲載し、保護者地域の理解を得ながら、アンケートや研修等をとおして未然防止、早期発見、早期解決に努めました。また、毎月、長期欠席児童・生徒調査を実施し、関係諸機関と連携しながら早期対応および継続的な支援に努めました。（指導室） ④生活指導主任会や健康・体力推進委員会等において、各学校の取組について情報交換を行いました。（指導室） ⑤各学校において様々な世代と工夫して交流を図りました。（指導室） ⑥中学校区で共通のテーマを設定して連携した取組を行い、継続的な生活指導の充実を図りました。（指導室）	○	指導室 学務課																								
44	若者の自立等支援事業→ひきこもり等支援事業	子・若	社会生活を円滑に営む上での困難を有するひきこもり等の状態にある若者等に対して、個別に働きかけ、具体的な支援を実施し自立につなげます。	項目名：講演会参加者数(※年度末現在) 単位：人 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>29</td><td>—</td><td>23</td><td>34</td><td>14</td><td></td></tr></table> ※令和2年度については新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から講演会および個別相談会を中止とした。 項目名：個別相談会延べ相談件数(※年度末現在) 単位：人 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>37</td><td>—</td><td>13</td><td>11</td><td>13</td><td></td></tr></table>	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	29	—	23	34	14		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	37	—	13	11	13		—	地域福祉課
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																									
29	—	23	34	14																										
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																									
37	—	13	11	13																										

2 子育ての喜びを感じられるまちづくり

(1) 男女がともに子育ての喜びを感じられるまちづくり

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和5年度時 主な担当課名
45	子育てにやさしい企業・地域の実現	次世代	①関係機関と連携し、市民、事業主などの意識改革のための広報・啓発、情報提供を行います。 ②育児・介護休業制度などの普及・啓発、短時間勤務・フレックスタイムなどの普及を促進します。 ③企業や店舗と協力し子育てにやさしい店や企業づくりへの支援を検討します。	①男女平等参画社会の実現の観点から、中小企業および市民を対象にワーク・ライフ・バランス講座（11人受講）を実施した。（市民安全課） ③子ども食堂推進事業として、7団体に補助金の交付をいたしました。（子育て応援課）	○	市民安全課 商工業振興課 子育て応援課
46	女性の就労の支援	次世代	①女性の再雇用や就労、起業を支援する講座や講演会の充実を図ります。 ②働く女性の職業能力開発および就業意欲の向上のため、パソコン教室など学習機会の充実を図ります。	①②企業現場における女性管理職候補や将来のリーダー育成のための「スキルアップセミナー」と「キャリアアップセミナー」を開催した。（市民安全課）	○	商工業振興課 市民安全課
47	家事・育児・家庭教育・地域教育への男性の参画	次世代	男女共同による家事・育児への参加促進に向けて、講演会・セミナーなどにより、市民・企業への啓発を行います。	男女平等参画社会の実現の観点から、中小企業および市民を対象にワーク・ライフ・バランス講座（11人受講）を実施した。（市民安全課）	○	市民安全課
48	仕事と家庭の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現	次世代	ワーク・ライフ・バランス実現のため、企業・市民との協働により、仕事と家庭の両立を支援する様々な取組を行うとともに、制度の周知、啓もうを図ります。	青梅商工会議所と連携して、中小企業および市民を対象にワーク・ライフ・バランス講座（11人受講）を実施した。（市民安全課）	○	市民安全課 商工業振興課 子育て応援課
49	次代の親の育成 《再掲No.80》	次世代 子・若	①男女がともに子育てや教育に参加し、家族のパートナーシップの強化を促すよう、講座や情報紙などによる啓発を行います。 ②子どもが男女とも家事を手伝うよう、子ども料理教室や家事分担カレンダーの作成・配布、通学合宿の実施などを進めます。	①青梅商工会議所と連携して、中小企業および市民を対象にワーク・ライフ・バランス講座（11人受講）を実施した。（市民安全課） ②農業食育体験教室を開催し、農業体験、子牛とのふれあい体験および河辺市民センター文化祭での野菜販売会を実施しました。（社会教育課）	○	市民安全課 社会教育課
50	男女平等セミナーの開催	次世代	青梅市男女平等推進計画にもとづき、セミナーを開催します。	中学3年生を対象とした「デートDV講座」、中小企業および市民を対象に「ワーク・ライフ・バランス講座」、青梅市職員を対象とした「ワーク・ライフ・バランス研修」、社会教育課と共催で市内在住等の成人女性を対象とした「アングーマネジメント講座」を実施した。	○	市民安全課
51	青梅市男女平等推進計画の推進	次世代	青梅市男女平等推進計画にもとづき、各課の実施事業の推進を図るとともに、進捗よく状況報告書を作成し、各事業の内容を確認します。	第六次青梅市男女平等推進計画の推進に当たり、各課の実施事業の進捗よく状況をまとめ、実施事業に対する青梅市男女平等推進計画懇談会からの評価結果を取りまとめた。（新町C） また、第七次計画である青梅市ジェンダー平等推進計画を策定した。	○	市民安全課

(2) 地域・世代間交流を進めるまちづくり

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和5年度時 主な担当課名
52	地域・世代間交流事業の推進	次世代 子・若	①子育て支援施設や学校・保育所など様々な場で、子育て中の父母やNPO法人などの協力を得て、小中高生と乳幼児との交流に取り組みます。 ②昔からの遊びや知恵を伝承する取組など高齢者との世代間交流の実施を進めます。 ③自治会や子ども会など地域との協働事業に取り組みます。 ④運動会、盆踊り、文化祭などの事業をもとに、自治会や子ども会など地域との交流の推進に努めます。 ⑤PTAやNPO法人など地域団体との共催講座の実施を進めます。	④「長淵地区文化祭」で子供たちの演技披露や消火器体験などを行い、地域交流・世代間交流を図りました。（11月、1,377人参加）（長淵C） ④青少年対策第10支会地区委員会の実施する農業・食育（ジャガイモ掘り）体験事業を支援しました。（河辺C） ④青少年対策新町地区委員会の実施する農業・食育（じゃがいも掘り、さつまいも掘り）体験事業を支援した。（新町C） ④大門市民センター文化展を実施した（11月、515人参加）。（大門C） ④市民運動会（10/8参加者のべ800人）、梅郷地区文化祭（11/5参加者のべ600人）で地域との交流の推進を行った。（梅郷C） ⑤青少年対策梅郷地区委員会と三田地区委員会共同で講演会を行った。（梅郷C・沢井C） ⑤NPO法人を講師として、市内の中学校4校に対してデートDV講座を開催した。（市民安全課） ④文化展（10月、約430人参加）を実施するとともに、第11支会事務局として夏祭り・花火大会（7月、約600人参加）支援し、第11支会体育振興事業事務局として、スポーツイベント（10月、約200人参加）と市民ウォーキング（1月、138人参加）を支援しました。（今井C） ④三田地区スポーツの日（9月）に、子どもから高齢者まで幅広い年齢層が参加できるファミリーゴルフ大会を開催し交流を深めた。また、総合文化祭（11月）を開催し地域交流に努めた。（沢井C） ④成木地区文化祭を活動団体や第七支会等と協働して実施した。（成木C） ①子育て支援および子どもたちの健全育成を図るため、「子どもふれあいフェスタ2023実行委員」に補助金を交付し、文化交流センターにて実施しました。（参加者延べ1,075人）（子育て応援課）	○	子育て応援課 市民活動推進課 市民安全課
53	青少年健全育成・青少年対策事業	子・若	青少年対策各地区委員会が実施する各種事業について補助金を交付することにより、当該事業の適正な運営を推進し、さらに青少年が地域活動に参加する機会や場を提供するとともに、親子のふれあい、異年齢交流や地域交流を通じて、地域社会全体で青少年の健全育成を図ります。	青少年対策事業補助金を市内11地区の青少年対策地区委員会に対し交付し、各地区委員会が実施する事業を支援しました。 青少年対策地区委員会の合同事業として、「青梅市親子ふれあい事業（ポッチャ大会）」を開催しました。	○	子育て応援課

(3) 地域の子育ての場とネットワークづくり

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和5年度時 主な担当課名
54	地域活動の活性化と 地域、学校、行政が 協働した取組の推進	次世代 子・若	①自治会、子ども会などの地域活動を支援するとともに、地域での活動の情報収集とその発信に努めます。 ②地域、学校、行政が一体となったイベントなどの取組を進めます。 ③子育てサポーター講習、地域ボランティア講習などを実施し、市民ボランティアの育成を図るとともに、ボランティア市民活動などと連携した活用を進めます。	①各支会事業、自治会などの活動を通し情報収集に努めるとともに、センターだよりを年12回発行し、センター事業や支会行事の情報提供を行った。また、小中学校の学校だよりの配布を行った。(各市民センター) ②市民センター文化祭と第八支会ささえあいフェスティバルを同時開催し、これに学校等の協力をいただき、地区内の小中学生や保育園児の作品展示を行いました。(東青梅C) ②梅郷地区文化祭を開催し地域の自治会、学校とともにセンターが一体となって作品展示を行い、地域との交流の推進を図った。(梅郷C) ②小曾木地区文化祭は、七小の作品展示や六中茶道部の野点も行い、また小曾木つまつりとの合同開催となった。(11月、約560人参加)(小曾木C) ②三田地区総合文化祭を地域団体と共催(11月)し地域の活性化を図った。(沢井C)	○	子育て応援課 市民活動推進課
55	地域住民の主体的活動の支援	次世代 子・若	①地域での子育て支援活動の促進に向けて、市民センター、自治会館、商店街の空き店舗、高齢者福祉施設などを活用し、乳幼児から高齢者まで気軽に交流できるサロン(広場)の設置など地域支援を進めます。 ②子育てサークル等のネットワークの育成を図ります。	①「長淵地区文化祭」で子供たちの演技披露や消火器体験などを行い、地域交流・世代間交流を図りました。(11月、1,377人参加)(長淵C) ①市民センターで文化祭を開催し、多世代が交流できる場の提供を実施した。(各市民センター) ①小曾木地区文化祭は、七小の作品展示や六中茶道部の野点も行い、また小曾木つまつりとの合同開催となった。(11月、合文化祭参加)(小曾木C) ①梅郷地区文化祭を開催し地域の自治会、学校とともにセンターが一体となって作品展示を行い、地域との交流の推進を図った。(梅郷C)	○	商工業振興課 子育て応援課 高齢者支援課 市民活動推進課
56	青少年リーダーの育成	次世代 子・若	小学生から高校生までの異年齢集団による様々な体験活動を通じ、子ども会・地域活動における青少年リーダーの育成を図ります。	全6回の日程で、青少年リーダー育成研修会を実施しました。(延べ参加者198人)	○	社会教育課
57	地域のボランティアの育成	次世代 子・若	①各施設を中心に、地域教育を協働できる体制づくりを検討します。 ②青梅ボランティア・市民活動センターと連携し、地域のボランティアの育成に努めます。	①青梅ボランティア・市民活動センターと連携し、ボランティア活動に興味がある方を対象とした講座(22人参加)を実施した。(市民活動推進係) ①第八支会が実施する「ささえあいフェスティバル」に多くのボランティア団体の参加を呼び掛けた。(東青梅C) ②社会福祉協議会で運営する青梅ボランティア・市民活動センターにおいて随時ボランティアの相談を受け付けしており、ボランティア情報希望、ボランティア希望の相談を221件受け付けた。(市民活動推進係)	○	市民活動推進課
58	子育てボランティアの育成	次世代 子・若	子育て支援センターなどの親子ふれあい事業やNPO法人の活動支援などを通じて、市民相互の子育て支援グループの育成を図ります。	青梅ボランティア・市民活動センターを支援することで、子育てに関するボランティアの支援につなげた。(市民活動推進係) 「子どもふれあいフェスタ2023」が、文化交流センターで開催された。(参加者延べ1,075人) 開催費用について、同実行委員会に補助金を交付した。(子育て応援課)	○	子育て応援課 市民活動推進課

3 全ての子育て家庭を支援する地域づくり

(1) 子育て相談・情報提供体制の充実

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和5年度時 主な担当課名
59	保育所相談体制の充実	次世代 子・若	地域ごとの相談体制の確立を目指し、相談体制の周知、職員の適正な配置と職員研修の充実による認識の向上に努め、内容の充実を図ります。	畑中保育園を中心に、13保育所で子育てひろば事業を実施し、相談体制の充実を図りました。	○	子育て応援課
60	相談サービスネットワークの整備	次世代 子・若	子ども家庭支援センターを拠点とし、子育て支援センター、子育てひろばなどのネットワークを通じて子育て相談体制の充実を図ります。	子ども家庭センターや子育てひろばで相談を実施しました。また、子育てひろば連絡会によるアンケートを実施し、情報交換等を行いました。	○	子育て応援課 子ども家庭センター
61	指導・相談体制の充実	次世代 子・若	①育児不安への対応などを中心に、個別相談の実施を充実します。 ②いじめや不登校の相談など教育相談の充実を図ります。	①子ども家庭センターで保育所・学校など関係機関と連携して個別相談（相談件数1,213件）を実施しました。（子ども家庭センター） ②子ども発達相談では、臨床心理士が個別相談を実施し母親の不安解消に努めました。（子ども家庭センター） ③青梅市いじめの防止に関する条例にもとづき、いじめに関する会議を開催し、組織体制の連携、強化等について協議しました。また、教育相談所や登校支援室、教育支援センター等が連携し、登校支援や不登校児童・生徒の受け入れを行うなど、早期対応に努めました。（指導室）	○	子ども家庭センター 指導室
62	子育て支援講座の充実	次世代 子・若	子育てを支援する講座の充実を図めます。	0歳児を初めて育てている母親を対象にした育児講座を、延べ16回実施しました。また、未就学児と保護者を対象とした子育て支援に関する講座「親子スキップ教室」を8か所8回ずつ実施しました。（参加者不足のため、1か所開催中止）	○	子育て応援課
63	親子サロン・赤ちゃんサロンの充実	次世代	子どもを遊ばせながら、親同士の交流や子育て相談の充実を図ります。	コロナ禍では中止していたが、旧担当部署の業務増によりサロン再開の目途がつかず未開催となった。	—	子育て応援課
64	子育てひろば事業などの活用	次世代 子・若	絵本の読み聞かせなどを通じ、絵本と出会う機会づくりと親子の交流を進めます。	乳幼児の3・4か月健診時において、赤ちゃん向け絵本の紹介および図書館利用のPRを行いました（18回）。（社会教育課） 子育て支援センター等において絵本の読み聞かせを実施しました。（子育て応援課） 「こんにちは赤ちゃん事業」として行う生後4ヶ月までの乳児家庭への民生委員の全戸訪問の際に、ブックスタート事業として絵本の配付を実施しました。（子ども家庭センター）	○	子育て応援課 子ども家庭センター 社会教育課
65	こんにちは赤ちゃん事業の充実	次世代 子・若	生後4か月までの乳児がいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握をすることにより、子育て家庭の孤立化を防ぎ、乳幼児の健全な育成環境を整備します。	おおむね生後4か月までの乳児がいる家庭を対象として、家庭訪問を行いました。（訪問対象数 556件、訪問数 540件、転出等16件）	○	子ども家庭センター

(2) 子育て支援サービスの充実

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和5年度時 主な担当課名
66	幼稚園、小学校の連携の推進	次世代	幼稚園と小学校との連携に向けて、各幼稚園への情報提供を行います。	各幼稚園へ情報提供を行っております。	○	こども育成課
67	子育て世帯への支援	次世代	おむつの無料回収を行い、子育て世帯を支援します。	多くの方に無料回収を利用していただけるよう、ごみ収集カレンダーや広報おうめ等で周知を図りました。	○	清掃リサイクル課

(3) 地域における切れ目のない妊娠・出産体制の強化

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和5年度時 主な担当課名																																				
68	子育てにやさしいまちづくり（赤ちゃんふらっと事業）の推進		外出時のおむつ替えや授乳場所の確保など、子育てにやさしいまちづくりを進めます。	項目名：赤ちゃんふらっと事業実施施設数 単位：施設 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 整備の促進を図っていきます。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	6	6	6	6	6		○	子育て応援課																								
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																					
6	6	6	6	6																																						
69	子育て教室の開催（母親学級、離乳食・幼児食教室）		妊娠・出産・育児について学ぶ講座の充実を図ります。離乳食・むし歯予防等についての講座等を開催します。	項目名：母親(両親)学級参加者数 単位：人(延) <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>336</td><td>224</td><td>290</td><td>291</td><td>268</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 安心して出産・子育ての準備ができるように、抱っこの仕方やお風呂入れの仕方等の実習を実施しながら、親同士の交流を図りました。 項目名：離乳食教室参加者数 単位：人 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>341</td><td>157</td><td>114</td><td>121</td><td>129</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、一般の離乳食教室において、年度末に希望者に対し離乳食の試食を可としました。 一方、祖父母に対する離乳食教室は、引き続き講義のみで実施しました。 項目名：幼児食教室参加者数 単位：人 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>38</td><td>5</td><td>4</td><td>2</td><td>5</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 新型コロナウイルス感染症が5類に移行しましたが、調理実習は実施せず、前年同様講義のみとしました。 指導に特化せず、対話形式で質問に答えるよう努めました。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	336	224	290	291	268		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	341	157	114	121	129		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	38	5	4	2	5		○	こども家庭センター
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																					
336	224	290	291	268																																						
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																					
341	157	114	121	129																																						
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																					
38	5	4	2	5																																						
70	乳幼児医療費助成の実施		義務教育就学前の乳幼児の医療費の自己負担の一部を助成します。	項目名：助成金額 単位：百万円 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>154</td><td>116</td><td>143</td><td>140</td><td>160</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 0歳から小学校入学前までの乳幼児に対し、医療費の自己負担分の助成を適正に行いました。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	154	116	143	140	160		○	こども育成課																								
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																					
154	116	143	140	160																																						

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和5年度時 主な担当課名																																																												
71	子どもや母親、妊婦の健康の確保		①母親学級（母性科・育児科）・両親学級の開催、電話相談等により育児に対する不安の解消を図り、良いお産の促進を図ります。 ②母子手帳、啓発紙・冊子の発行・配布により、子どもの事故の防止を図ります。 ③相談事業やグループワークにより、母親のストレス防止や児童虐待の発生を予防します。	項目名： 母親(両親)学級参加者数 単位：人(延) <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>336</td><td>224</td><td>290</td><td>291</td><td>268</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 母親学級を通じて、講師である保健師、歯科衛生士や管理栄養士の信頼関係を築くことによって相談しやすい環境をつくっています。 項目名： 母子手帳発行数 単位：冊 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>692</td><td>629</td><td>565</td><td>515</td><td>565</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 母子健康手帳を渡す際に、保健師と面談を行い、妊娠期間から出産にかけて注意すべきことや各種サービスの紹介をしています。 項目名： ステップクラスⅠ(乳児)の参加組数 単位：組(延) <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>73</td><td>98</td><td>81</td><td>77</td><td>84</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 項目名： ステップクラスⅡ(幼児)の参加組数 単位：組(延) <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>100</td><td>84</td><td>72</td><td>140</td><td>82</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 乳児ステップクラスは、育児に不安をもつお母様を支援し、幼児ステップクラスは、集団生活が苦手の幼児の体験の場としてテーマを変えながら参加しやすいように努めました。 項目名： 10代での妊娠届出数 単位：人 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>7</td><td>3</td><td>5</td><td>1</td><td>9</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 行政サービス等の情報提供を実施し、信頼関係を構築しながら必要な支援に努めました。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	336	224	290	291	268		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	692	629	565	515	565		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	73	98	81	77	84		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	100	84	72	140	82		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	7	3	5	1	9		○	こども家庭センター
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																																													
336	224	290	291	268																																																														
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																																													
692	629	565	515	565																																																														
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																																													
73	98	81	77	84																																																														
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																																													
100	84	72	140	82																																																														
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																																													
7	3	5	1	9																																																														
72	妊産婦健康診査の実施と産婦対策の推進		妊産婦を対象に、健康診査を実施します。	項目名： 妊婦健康診査実施人数 単位：人(延) <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>8,996</td><td>8,059</td><td>7,777</td><td>6,723</td><td>8,298</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 都内の各医療機関に妊婦健康診査14回、超音波検査4回、子宮頸がん検診1回を委託して、妊婦の健康管理に努めました	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	8,996	8,059	7,777	6,723	8,298		○	こども家庭センター																																																
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																																													
8,996	8,059	7,777	6,723	8,298																																																														
73	妊婦歯科健康診査の実施		妊婦を対象に、歯科健康診査を実施します。	項目名： 妊婦歯科健康診査実施人数 単位：人 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>73</td><td>39</td><td>56</td><td>37</td><td>46</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 妊婦の歯科疾患の早期発見・早期治療を図るとともに、歯磨き指導も実施しました。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	73	39	56	37	46		○	こども家庭センター																																																
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																																													
73	39	56	37	46																																																														
74	乳幼児健康相談の実施、母と子の保健指導(健康指導)の実施		乳幼児の発育・離乳食・むし歯予防などについて、保健師、管理栄養士、歯科衛生士、心理相談員による健康相談を実施します。	項目名： 乳幼児健康相談の相談人数 単位：人 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>166</td><td>64</td><td>147</td><td>172</td><td>196</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 各専門職が、発育状況を確認しながら育児指導、助言を行い母親の不安解消に努めました。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	166	64	147	172	196		○	こども家庭センター																																																
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																																													
166	64	147	172	196																																																														
75	妊婦食教室・離乳食教室・幼児食教室の実施		妊婦食・離乳食・幼児食の栄養についての講義と調理実習または試食を行います。	項目名： 妊婦食教室参加人数 単位：人 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>5</td><td>3</td><td>2</td><td>7</td><td>7</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 新型コロナウイルス感染症は5類へと移行しましたが、妊婦の体調を考慮し、調理実習・試食は行わず講義のみといたしました。指導に特化せず、対話形式で質問に答えるよう努めました。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	5	3	2	7	7		○	こども家庭センター																																																
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																																													
5	3	2	7	7																																																														

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和5年度時 主な担当課名												
76	乳幼児健康診査の実施		①3か月児、6か月児、9か月児、1歳6か月児、3歳児を対象に、健康診査を実施します。 ②未受診児に対し、フォローを行います。	項目名：3～4か月児健康診査受診者数 単位：人 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>691</td><td>553</td><td>606</td><td>553</td><td>545</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	691	553	606	553	545		○	こども家庭センター
				R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度									
				691	553	606	553	545										
				項目名：6～7か月児健康診査受診者数 単位：人 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>626</td><td>636</td><td>557</td><td>542</td><td>484</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	626	636	557	542	484			
				R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度									
				626	636	557	542	484										
項目名：9～10か月児健康診査受診者数 単位：人 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>618</td><td>612</td><td>553</td><td>533</td><td>487</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	618	612	553	533	487							
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度													
618	612	553	533	487														
項目名：1歳6か月児健康診査受診者数 単位：人 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>669</td><td>755</td><td>667</td><td>638</td><td>559</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	669	755	667	638	559							
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度													
669	755	667	638	559														
項目名：3歳児健康診査受診者数 単位：人 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>770</td><td>809</td><td>689</td><td>728</td><td>658</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 各種健康診査を実施することによって、乳幼児の健康状態を把握し必要な乳幼児には経過観察健康診査等を紹介しました。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	770	809	689	728	658							
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度													
770	809	689	728	658														
項目名：乳幼児健康診査未受診者数 単位：人 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>78</td><td>128</td><td>50</td><td>135</td><td>50</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 未受診者について、市外転出等を確認しながら、電話や訪問等により現認や健康状態を把握しました。なお、市内居住者については、全数把握しました。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	78	128	50	135	50							
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度													
78	128	50	135	50														
77	幼児体操教室の開催		3歳から未就学児を対象に、ボールやフープなどの手具を使った運動やゲームを行います。	項目名：延べ参加人数 単位：組 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>266</td><td>0</td><td>35</td><td>192</td><td>203</td><td></td></tr></table> 指定管理者自主事業として幼児体操教室を実施した。コロナ禍以降、徐々に参加者が増え、令和5年度も前年度と比べ微増した。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	266	0	35	192	203		○	スポーツ推進課
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度													
266	0	35	192	203														

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和5年度時 主な担当課名																																				
78	幼児歯科相談の実施		2歳児と2歳6か月児を対象に、歯科健康教育・歯科健康診査・予防処置を実施します。	項目名：歯科健康教育実施人数 単位：人 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>700</td><td>715</td><td>657</td><td>614</td><td>641</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 定期的に歯科健康教育をすることで、幼児の口腔の健全な発育発達を促しました。また、保護者の歯科保健に関する不安や悩みに答えました。 項目名：歯科健康診査実施人数 単位：人 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>702</td><td>721</td><td>657</td><td>614</td><td>641</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 1歳6か月児歯科健診から継続的に健診を受けることにより、要観察の幼児のフォローも実施しました。 項目名：予防処置実施人数 単位：人 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>697</td><td>713</td><td>654</td><td>611</td><td>638</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 2歳児と2歳6か月児を対象に、歯ブラシゲル法でフッ化物塗布を実施しました。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	700	715	657	614	641		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	702	721	657	614	641		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	697	713	654	611	638		○	こども家庭センター
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																					
700	715	657	614	641																																						
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																					
702	721	657	614	641																																						
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																					
697	713	654	611	638																																						
79	幼児歯科健康診査の実施		1歳6か月児、3歳児を対象に、歯科健康診査を実施します。	項目名：1歳6か月児歯科健康診査実施人数 単位：人 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>668</td><td>753</td><td>666</td><td>637</td><td>559</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 項目名：3歳児歯科健康診査実施人数 単位：人 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>767</td><td>808</td><td>688</td><td>726</td><td>657</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 1歳6か月児健診・3歳児健診と一緒にいき、歯科疾患の早期発見・早期治療を図ることに努めました。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	668	753	666	637	559		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	767	808	688	726	657		○	こども家庭センター												
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																					
668	753	666	637	559																																						
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																					
767	808	688	726	657																																						
80	次代の親の育成《再掲No.49》	次世代子・若	市内の中学・高校等と連携し乳幼児とのふれあいの機会づくりを充実させます。	項目名：子育て支援センターでの高校生ボランティア受入延人数 単位：人 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>25</td><td>0</td><td>4</td><td>0</td><td>0</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 コロナ禍も終わり、従前どおりにボランティアを受け入れるべく準備した。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	25	0	4	0	0		－	子育て応援課																								
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																					
25	0	4	0	0																																						

(4) 施設職員に対する支援

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和5年度時 主な担当課名												
81	研修および人材確保等に対する支援の実施	子・若	教諭・保育士等の質を向上させるための研修や人材確保等に対する支援に努めます。	項目名：情報提供対象施設数 単位：園 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>46</td><td>47</td><td>47</td><td>46</td><td>42</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 保育園32園、幼稚園4園、幼児園1園、小規模保育3園、認定こども園2園、家庭的保育4人に対し、各種研修、就職相談会、研修生の派遣等の支援を実施しました。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	46	47	47	46	42		○	こども育成課
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度													
46	47	47	46	42														

(5) 放課後等の居場所づくりへの支援

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和5年度時 主な担当課名
82	地域居場所づくり	子・若	①子育て支援センターにおいて乳幼児の居場所づくりを支援します。 ②各市民センターや青梅市文化交流センターなど地域社会の中で、放課後に子供たちの安全で健やかな居場所づくりを推進します。	①子育て支援センターにおいては、コロナ禍終了に伴い、従前のとおり乳幼児親子の受入れを行った。 また、子育て支援センターの和室を利用し、従前のとおり子育て支援講座も実施した。（子育て応援課） ②子育てひろばでは、コロナ禍終了に伴い、従前のように事業内容を工夫するとともに居場所を提供した。（子育て応援課） ③子育てひろばの会場提供等の協力をした。（市民活動推進課）	○	子育て応援課 市民活動推進課

4 働きながら子どもを育てる家庭への支援の充実

(1) 教育・保育サービスの充実

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和5年度時 主な担当課名
83	保育所の情報提供	次世代	保護者に対し、保育所の情報提供を充実、強化します。	保育園利用についての保護者向けパンフレットを作製しました。(7月に当年度改訂版300部、11月に次年度更新版1,900部)	○	こども育成課
84	夜間保育事業の促進	次世代 子・若	関係機関と実施について協議していきます。	夜間保育については、今のところニーズがないため実施していません。	—	こども育成課
85	子育て短期支援事業(トワイライトステイ)の検討	次世代 子・若	関係機関と実施について協議していきます。	現段階では、延長保育やショートステイ事業でニーズに対応できているため、今後の動向を見ながら検討してまいります。(子育て応援課)	—	こども育成課 子育て応援課

(2) 産後の休業および育児休業後の特定教育・保育施設等の円滑な利用の確保

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和5年度時 主な担当課名												
86	子ども家庭支援センター事業の充実		子ども家庭支援センター事業については、組織の強化を含めて拡充し、総合相談、情報提供などを進めます。	項目名：子ども家庭支援センター相談件数 単位：件 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>1,152</td><td>1,161</td><td>1,251</td><td>1,159</td><td>1,213</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 子供家庭支援ワーカーを増員し組織の強化を図り、総合相談や情報提供等に対応しました。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	1,152	1,161	1,251	1,159	1,213		○	こども家庭センター
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度													
1,152	1,161	1,251	1,159	1,213														

(3) 労働者の職業生活と家庭生活との両立

①仕事と生活の調和の実現のための働き方の見直し

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和5年度時 主な担当課名												
87	就学前教育の充実と 小学校との連携 (再掲No.11)		保育所・幼稚園と小学校が連携し、乳 幼児期から学齢期への円滑な移行を図 ります。	項目名：小学校の見学 単位：回 <table><tr><th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr><tr><td>16</td><td>0</td><td>16</td><td>16</td><td>16</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 外部講師を招いた保育所・幼稚園・小学校合同研修を実施し連 携・推進に努めました。(指導室)	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	16	0	16	16	16		○	指導室
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度													
16	0	16	16	16														
88	放課後子ども教室の 拡充		地域で子どもたちを育む環境づくりと 子どもたちの安心・安全な活動拠点づ くりを推進します。	項目名：開設数 単位：箇所 <table><tr><th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr><tr><td>16</td><td>16</td><td>16</td><td>16</td><td>16</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 東小を除く16校すべてで実施しています。	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	16	16	16	16	16		○	子育て応援課
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度													
16	16	16	16	16														

②仕事と子育ての両立のための基盤整備

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和5年度時 主な担当課名																																				
89	多世代・異年齢交流事業の推進		子どもたちが様々な人と出会い、ふれあうことのできる多世代・異年齢交流を推進します。	項目名：子育て支援センターでの大学生インターンシップ受入延人数 単位：人 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>10</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 項目名：子育て支援センターでの高校生ボランティア受入延人数 単位：人 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>25</td><td>0</td><td>4</td><td>0</td><td>0</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 コロナ禍も終わり、従前どおりにボランティアを受け入れるべく準備し、大学生インターンシップのみ申し込みがあった。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	10	0	1	0	1		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	25	0	4	0	0		○	子育て応援課												
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																					
10	0	1	0	1																																						
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																					
25	0	4	0	0																																						
90	子どもの居場所づくり 《再掲No.40》	子・若	次世代育成支援地域協議会の検討報告書にもとづき、既存施設を利用し、子どもたちが身近で安全に遊べる場や安心できる居場所の確保を図ります。	項目名：各市民センターにおける子育て支援事業利用人数 単位：人 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>3,815</td><td>441</td><td>1,626</td><td>2,353</td><td>2,679</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 居場所として、市民センター等9か所における子育て支援事業や、子育て支援センター等18か所で子育てひろば事業を実施した。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	3,815	441	1,626	2,353	2,679		－	子育て応援課																								
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																					
3,815	441	1,626	2,353	2,679																																						
91	子育てグループづくり		各施設における親子の遊びや交流・学習、母親学級などの機会を通して、親同士のコミュニケーションを図り、子育てグループの育成を図ります。	項目名：子育て支援講座（ＢＰ１）参加者数 単位：組 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>43</td><td>14</td><td>26</td><td>25</td><td>28</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 項目名：子育て支援講座（ＢＰ２）参加者数 単位：組 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>25</td><td>22</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 項目名：親子スキップ教室参加者数 単位：人 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>1,796</td><td>990</td><td>738</td><td>869</td><td>852</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 生後2～5か月の乳児とその母を対象に、子育て支援センター内において、育児に関する講座を延べ36回実施しました。また、子育て支援に関する講座「親子スキップ教室」を8か所8回ずつ実施しました。（参加者不足のため、1か所開催中止）	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	43	14	26	25	28		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	－	－	－	25	22		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	1,796	990	738	869	852		○	子育て応援課
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																					
43	14	26	25	28																																						
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																					
－	－	－	25	22																																						
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																					
1,796	990	738	869	852																																						
92	保育所の整備・充実の支援		施設整備計画にもとづき、私立保育所等の整備、充実を支援していきます。	項目名：対象園数 単位：園 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>4</td><td>2</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 施設の老朽化にともなう新園舎建替え工事および幼稚園の認定こども園化に伴う新園舎建替え工事を実施しました。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	4	2	1	2	2		○	こども育成課																								
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																					
4	2	1	2	2																																						
93	延長保育事業の充実		2時間延長保育等の内容の充実を図ります。	項目名：実施園数 単位：園 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>14</td><td>11</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 保育施設全園で30分～2時間の延長保育事業を実施しました。うち、2時間延長保育を実施した園は8園でした。引き続き延長保育の充実を図っていきます。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	14	11	8	8	8		○	こども育成課																								
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																					
14	11	8	8	8																																						

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和5年度時 主な担当課名																								
94	休日保育事業の実施		休日保育の拡充を図ります。	項目名：利用人数 単位：人/年 <table><tr><td>R元年度</td><td>R2年度</td><td>R3年度</td><td>R4年度</td><td>R5年度</td><td>R6年度</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 平成27年度から実施施設はありません。ニーズが少なく、実施する保育所はありません。今後も、実施施設を募っていきます。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度							—	こども育成課												
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																									
95	保育所・幼稚園等への巡回相談員等派遣事業の充実		市内全保育所および幼稚園等に、臨床心理士等の派遣による巡回相談を実施し、支援が必要な子どもと家庭の早期発見とその対応の充実を図ります。	項目名：派遣回数（幼稚園等） 単位：回 <table><tr><td>R元年度</td><td>R2年度</td><td>R3年度</td><td>R4年度</td><td>R5年度</td><td>R6年度</td></tr><tr><td>14</td><td>16</td><td>15</td><td>18</td><td>17</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 項目名：派遣回数（保育所） 単位：回 <table><tr><td>R元年度</td><td>R2年度</td><td>R3年度</td><td>R4年度</td><td>R5年度</td><td>R6年度</td></tr><tr><td>99</td><td>103</td><td>109</td><td>117</td><td>128</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 幼稚園等の要望に応じ、巡回相談を充実させました。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	14	16	15	18	17		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	99	103	109	117	128		○	こども育成課
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																									
14	16	15	18	17																										
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																									
99	103	109	117	128																										

(4) 子育て世代の保護者負担の軽減

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和5年度時 主な担当課名												
96	義務教育就学児医療費助成の実施		義務教育就学児の医療費の自己負担の一部を助成します。	項目名：助成金額 単位：百万円 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>207</td><td>168</td><td>179</td><td>192</td><td>255</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 小学校入学から中学校卒業までの義務教育就学児に対し、医療費の自己負担分の一部の助成を適正に行いました。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	207	168	179	192	255		○	こども育成課
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度													
207	168	179	192	255														
97	幼稚園等保護者への支援		幼稚園等に在園する子を持つ保護者の負担軽減のため補助を行い支援します。	項目名：交付対象者数 単位：人 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>892</td><td>839</td><td>721</td><td>627</td><td>537</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 園児の保護者に対し、国の補助を受けて幼稚園施設等利用費補助金を、都の補助を受けて保護者補助金を、また、青梅市独自で入園料補助金を交付しました。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	892	839	721	627	537		○	こども育成課
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度													
892	839	721	627	537														
98	児童手当の支給		児童手当（国制度）の適正・迅速な支給を実施します。	項目名：助成金額 単位：百万円 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>1,812</td><td>1,742</td><td>1,684</td><td>1,612</td><td>1,533</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 中学校卒業までの児童を養育している保護者に対し、適正・迅速に手当の支給を行いました。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	1,812	1,742	1,684	1,612	1,533		○	こども育成課
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度													
1,812	1,742	1,684	1,612	1,533														
99	交通機関利用児童通学費補助		公共交通機関を利用して市立小学校・中学校へ通学する児童・生徒の保護者に対して、通学費を補助します。	項目名：通学定期利用人数 単位：人 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>380</td><td>337</td><td>313</td><td>290</td><td>282</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 昨年度と同様に補助を実施しました。今後も引き続き補助を行っていきます。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	380	337	313	290	282		○	子育て応援課
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度													
380	337	313	290	282														

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和5年度時 主な担当課名																																				
100	ひとり親家庭等への 医療費助成の実施	子・若 貧困対策	ひとり親家庭等に対し、医療費を助成 します。	項目名：助成金額 単位：百万円 <table><tr><th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr><tr><td>53</td><td>54</td><td>55</td><td>54</td><td>56</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 ひとり親家庭等に対し、医療費の自己負担分の一部の助成を適 正に行いました。	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	53	54	55	54	56		○	こども育成課																								
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																																					
53	54	55	54	56																																						
101	情報提供の充実		ライフサイクルに応じた記載など、さら に充実した「子育て支援ガイド」を 作成するとともに、子育て世代の保護 者がスマートフォン等により子育て支 援情報を取得できる子育てモバイルを 運用します。	項目名：子育て支援ガイド印刷数 単位：冊 <table><tr><th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr><tr><td>6,000</td><td>6,000</td><td>6,000</td><td>6,000</td><td>5,500</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 項目名：子育てモバイルアクセス数 単位：千件 <table><tr><th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr><tr><td>—</td><td>314</td><td>273</td><td>278</td><td>284</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 項目名：子育てモバイル新規登録者数 単位：人 <table><tr><th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr><tr><td>554</td><td>569</td><td>494</td><td>462</td><td>440</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 子育てモバイルの運用にあたっては内容を精査しコンテンツの 充実を図ります。今後も有益な情報が提供できるよう努めま す。	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	6,000	6,000	6,000	6,000	5,500		R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	—	314	273	278	284		R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	554	569	494	462	440		○	子育て応援課
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																																					
6,000	6,000	6,000	6,000	5,500																																						
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																																					
—	314	273	278	284																																						
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																																					
554	569	494	462	440																																						
102	統合保育の充実	子・若	障害のある乳幼児と一緒に保育する統 合保育を市内保育所等で実施し、必要 な周知を図ります。	項目名：入所児童数 単位：人 <table><tr><th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr><tr><td>98</td><td>106</td><td>124</td><td>124</td><td>174</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 令和5年度は認可保育所31園、小規模保育事業1園に障害児が入 所しています。	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	98	106	124	124	174		○	こども育成課																								
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																																					
98	106	124	124	174																																						
103	第三者評価サービ スの実施		利用者のサービス選択のための情報提 供と保育サービスの質を確保するた め、市内の全保育所で第三者評価サー ビスを実施します。	項目名：実施園数 単位：園 <table><tr><th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>14</td><td>9</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 全保育所で3年に1回、第三者評価サービスを実施しています。 令和5年度は認可保育所 園に対し受審経費の補助を行いまし た。	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	1	2	3	14	9		○	こども育成課																								
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度																																					
1	2	3	14	9																																						

5 保護者と子の健康づくり

(1) 保険・医療体制の充実

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和5年度時 主な担当課名
104	休日診療の実施	次世代	日曜日、祝日および年末年始の急病患者に対し、青梅市休日夜間診療所において内科・小児科の診療を、青梅市休日夜間薬局において保険調剤を実施します。また、青梅市歯科医師会会員の各歯科医院の輪番方式により、応急歯科診療を実施します。	青梅市医師会、青梅市歯科医師会および青梅市薬剤師会の協力ののもと、青梅市休日夜間診療所および青梅市休日夜間薬局は前年度と同様に、輪番方式を始めた応急歯科診療も周知方法を工夫しつつ概ね順調に実施しました。	○	健康課
105	平日夜間診療の実施	次世代	平日の夜間の急病患者に対し、青梅市休日夜間診療所において内科・小児科の診療を、青梅市休日夜間薬局において保険調剤を実施します。	青梅市医師会および青梅市薬剤師会の協力ののもと前年度と同様に実施した。	○	健康課
106	市内医療機関の診療の実施	次世代	小児科を標榜している市内の医療機関において診察します。また、青梅市立総合病院等において、第二次救急医療体制および第三次救急医療体制をとっています。	青梅市医師会、青梅市歯科医師会および青梅市薬剤師会の協力ののもと前年度と同様に実施しました。私的二次救急病院に対しては、救急体制確保にかかる補助金を交付し、当該事業の支援を行いました。	○	健康課

(2) 保護者と子の健康づくり支援の充実

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和5年度時 主な担当課名
107	むし歯予防教室の開催	次世代	8～12か月の子どもと親を対象に、むし歯予防教室を実施します。まだ、永久歯のほう出開始時期である5歳児に対し、むし歯予防教室（ビーパークラス）を実施します。	・歯が生えてきたらどういう事に気を付けたら良いのか、乳歯のむし歯予防、歯の磨き方、離乳食の食べさせ方等を学ぶむし歯予防教室を年6回、永久歯が生え始める時期に、食育もかねて管理栄養士と一緒に5歳児むし歯予防教室（ビーパークラス）を年2回実施しました。	○	こども家庭センター
108	「食育」の推進	次世代 子・若	望ましい食習慣の定着のための学習機会や情報の提供（乳幼児～思春期、妊娠期）を充実します。	新型コロナウイルス感染症が5類に移行しましたが、離乳食や幼児食教室においては積極的な調理実習や試食は行わず、講義やデモンストレーションを取り入れました。 親子食育講座については年2回実施し、テーマに合わせ汁の試飲や野菜嫌克服のための試食を希望者に対し行ったほか、感染症・食中毒防止の観点から手洗いの実習を取り入れ衛生面の指導に努めました。	○	こども家庭センター

(3) 思春期保険対策の推進

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和5年度時 主な担当課名
109	思春期保険対策の推進	次世代 子・若	①発達段階に応じた適正な性教育を行います。 ②喫煙・薬物乱用防止等の教育を充実します。 ③心の問題について相談体制の整備を図り、教育相談活動の充実に努めます。 ④市内の中学生を対象とした、薬物乱用防止のポスター・標語の募集を実施します。 ⑤市民を対象とした薬物乱用防止啓発活動を実施します。 ⑥東京都薬物乱用防止推進青梅・奥多摩地区協議会を開催し、薬物乱用防止に向けた取組の検討を行います。	①学習指導要領および各学校の性教育全体計画にもとづき、児童・生徒の発達段階を考慮しつつ、各教科との関連を図りながら実施しました。（指導室） ②保健体育の授業やセーフティ教室等で、警察等と連携し、喫煙や薬物乱用防止についての教育を実施しました。（指導室） ③スクールカウンセラーや教育相談所の心理相談員による相談を実施しました。（指導室） ④7月から9月にかけて市内の中学校に依頼し、薬物乱用防止ポスターと合わせて29点の応募があった。そのうち標語の優秀作6点について啓発活動に使用しました。（健康課） ⑤市役所および健康センターにおいて、薬物乱用防止ポスター、標語等を使用して啓発活動を行いました。（健康課） ⑥会議を年3回開催し、防止への取組の検討を行い、防止の推進を図った。（健康課）	○	健康課 指導室 学務課

6 支援が必要な子どもと家庭への支援の充実

(1) 子どもの虐待防止の取組の充実

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和5年度時 主な担当課名
110	児童虐待の未然防止と被害に遭った子どもの支援	次世代 子・若	学校、保育所、警察等の関係機関との連携強化を進め、育児虐待などの被害に遭った子どもに対し、カウンセリングなどの支援を行います。また保護者に対しては、家庭環境の改善に向けた指導・支援を行うとともに、学校や児童相談所、医療機関などの関係機関と、再発防止に向けた連携を充実させます。	校長会等において、「児童虐待防止推進月間」について周知するとともに、早期発見や適切な対応について協議を行いました。（指導室） 3～4か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査を行い、支援を必要とする子どもと家庭の早期発見、早期支援に努め、関係機関との連携に努めました。（こども家庭センター） 疑いを含めた虐待の通告・相談を受けた場合は、関係機関と連携を図り、家庭環境の改善に向けた指導・支援を行いました。また、虐待防止の啓発活動を目的に、市民を対象に講演会を実施しました。（こども家庭センター） 青梅市障がい者サポートセンターとともに障害者虐待防止センターとして活動し、障がい者虐待防止に関するリーフレットの配架・周知を行い、虐待の未然防止に努めた。令和5年度の支援はなかったが、事実が発生した場合、関係機関との連携を図り、万一被害に遭った子どもには、ケア等の支援を行います。（障がい者福祉課）	○	こども家庭センター 指導室 障がい者福祉課

(2) ひとり親家庭等の自立支援

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和5年度時 主な担当課名
111	ひとり親家庭等の自立支援の推進	次世代 子・若 貧困対策	ひとり親家庭等の自立のためハローワークと連携した、自立支援プログラム事業を継続実施するとともに、資格の取得や教育訓練実施に対する支援を行います。	自立支援プログラムを3件策定しました。 高等職業訓練促進給付金を24人、高等職業訓練修了支援給付金を4人にそれぞれ支給しました。 一般社団法人日本シングルマザー支援協会と連携し、ひとり親家庭サポート講座を開催しました(参加者6名)。さらに令和5年度から、ひとり親家庭等訪問相談事業を開始しました(参加者6名)。	○	子育て応援課

(3) 障害のある子どものいる家庭への支援の充実

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和5年度時 主な担当課名
112	支援を必要とする子どもと家庭の早期発見・早期支援	次世代 子・若	各種の健診、新生児訪問事業やこんには赤ちゃん事業など様々な機会を通じて、支援を必要とする子どもと家庭の早期発見、早期支援に努めます。	3～4か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査を行い、支援を必要とする子どもと家庭の早期発見、早期支援に努めました。（こども家庭センター） こんには赤ちゃん事業により生後4か月までの乳児家庭を全件訪問する中で、保護者からの聞きとり等により、支援を必要としている家庭を発見し、必要な支援および機関へ繋げました。（こども家庭センター） 障害福祉施設等と情報共有し、必要な方がいつでも相談できるよう体制を整えました。（障がい者福祉課）	○	こども家庭センター 障がい者福祉課
113	障害児施策の充実	次世代 子・若	保健・医療・福祉・教育等が連携し、障害児の健全発達支援と生活支援を図るとともに、発達障害等への教育的支援を行います。また、特別支援教育への就学奨励を図るため、保護者の経済的支援を図ります。	児童発達支援および放課後等デイサービスの利用を促進し、障害児の健全発達を目的とした療育を提供しました。（障がい者福祉課） 発達障害等の児童生徒に対して、特別支援教室（東小・中学校除く全校）で支援を行いました。（学務課） 特別支援学級へ通学している児童生徒の保護者に対し、学用品費等の特別支援学級就学奨励費を給与することにより経済的支援を行いました。（学務課）	○	障がい者福祉課 学務課
114	特別支援教育の推進	次世代 子・若	①障害のある児童・生徒一人ひとりの能力を最大限に伸ばすため、学校・家庭・地域および関係機関との密接な連携のもとに、乳幼児期から学校卒業後までのライフステージを見通し、施設の整備を含めた特別支援教育のさらなる展開を進めます。 ②リーフレットによる理解・啓発と保護者等に向けた研修会の充実を図ります。	①特別支援学級（小学校6校、中学校5校）および特別支援教室（東小・中学校除く全校）で個に応じた支援を行いました。（学務課） ①特別支援学級（第三小）を多目的室等から特別支援学級の教室として使用するため整備しました。備品および消耗品を購入しました。（施設課・教育総務課・学務課） ②リーフレットおよび研修会による理解・啓発を行いました。（学務課）	○	施設課 教育総務課 学務課
115	心身障害者(児)緊急一時保護事業の実施	次世代 子・若	障害者（児）を在宅で介護している保護者が、疾病などの理由により介護することが困難になった場合に、福祉員を派遣し、一時的な保護を行います。	緊急一時保護により、在宅介護をしている保護者の支援を行いました。	○	障がい者福祉課
116	心身障害者(児)居宅介護事業の実施	次世代	障害支援区分にもとづき、法に定める居宅介護サービスのうち必要な支援を実施します。	施行細則にもとづき、適正なサービス提供を行い、心身障害者（児）の居宅介護支援を行いました。	○	障がい者福祉課

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和5年度時 主な担当課名
117	私立幼稚園への支援	次世代 子・若	心身障害児教育事業費補助を行い支援します。	平成29年度末をもって、補助金が廃止されました。	－	こども育成課
118	地域活動支援センター事業の充実	次世代 子・若	地域で生活している障害者（児）およびその家族に対して、相談支援体制を整備し、必要な支援を行います。	障がい者福祉課が窓口になり、青梅市障がい者サポートセンターにおいて、相談体制の充実を図り、障害者およびその家族、関係機関からの相談に適切に対応するとともに、高次脳機能障害に対する普及啓発にも努めました。	○	障がい者福祉課
119	障害のある児童の居場所づくり	次世代 子・若	障害のある児童の放課後等における療育の場を整備し、安心して活動できる場所を提供します。	令和5年度では、放課後等デイサービスの利用は419人あり、障害児が安心して活動できる「居場所」を提供しました。	○	障がい者福祉課

(4) 貧困による困難を抱える子どもたちへの支援

①教育の支援

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和5年度時 主な担当課名												
120	私立幼稚園等・保護者への補助金 (再掲No.149)	貧困対策	私立幼稚園や幼稚園類似施設または認定こども園に在籍する園児の保護者の負担を軽減し、幼児教育の振興と充実を図るため、所得に応じて補助金を交付します。	私立幼稚園や幼稚園類似施設または認定こども園に在籍する園児の保護者の負担を軽減し、幼児教育の振興と充実を図るため、所得に応じて補助金を交付しました。	○	こども育成課												
121	受験生チャレンジ支援貸付事業 (再掲No.150)	子・若 貧困対策	学習塾等の費用や高校や大学などの受験費用について、一定所得以下の世帯の方に無利子で貸付を行うことにより、中学3年生や高校3年生またはそれに準じる家庭への支援を行います。	広報「おうめ」およびホームページへの掲載や、市のLINE等のSNSで発信することでこの事業内容の周知に努めた。令和5年度においては、中学3年生および高校3年生等の家庭から、延べ513件の相談があり、120件の貸付を行った。	○	地域福祉課												
122	子どもの学習・生活支援事業	子・若 貧困対策	経済的な理由により十分な学習ができない小学3年生から6年生までおよび中学生を対象に、家庭訪問による学習支援やその保護者に対する進学指導等を行います。	項目名：利用者数(※年度末現在) 単位：人 <table><tr><td>R元年度</td><td>R2年度</td><td>R3年度</td><td>R4年度</td><td>R5年度</td><td>R6年度</td></tr><tr><td>14</td><td>16</td><td>16</td><td>17</td><td>14</td><td></td></tr></table> 令和2年度より対象学年を小学3年生へ引き下げ、小学3年生から中学生までを対象とした家庭訪問による学習支援を実施いたしました。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	14	16	16	17	14		○	地域福祉課
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度													
14	16	16	17	14														
123	ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金 (再掲No.143、155)	子・若 貧困対策	ひとり親家庭の親および児童が高卒認定試験の合格を目指す場合に、民間事業者が実施する対策講座の受講にかかる費用の一部を支給します。	申請者1名 開始時給付金、修了時給付金、合格時給付金を支給しました。 就職に高卒資格を求める企業が多いため、高校中退者等に有益と思われます。	○	子育て応援課												
124	就学援助	子・若 貧困対策	経済的な理由で小・中学校の教育費支出が困難な家庭に対し、学用品や修学旅行費等の一部および給食費等を援助します。	「青梅市就学の援助に関する規則」にもとづき、要保護、準要保護に準ずる程度に困窮している保護者へ必要な援助を行いました。 令和5年度は632世帯(小学生567名、中学生372名)の家庭に対し、学用品や修学旅行費等の一部および給食費等を援助しました。	○	学務課												
125	青梅市育英資金(奨学金)融資	子・若 貧困対策	高校および大学等の就学奨励のため、保護者の方を対象とした奨学金を融資します。	青梅市育英資金融資条例」にもとづき、奨学金の融資のあっせんを行いました。 令和5年度末で、奨学金融資件数は95件となっています。	○	学務課												
126	教育相談所	子・若 貧困対策	幼児・小学生・中学生に關しての不登校、学習、心配な行動などの様々な悩みについて相談に応じます。	令和5年度は来所相談を630件、電話相談を28件受けました。相談件数が多い状況が続いていますが、適切に相談活動を行っています。	○	学務課												
127	教育支援センター (旧適応指導教室)の設置(ふれあい学級) (再掲No.32)	子・若 貧困対策	①不登校の状態にある児童に対して、学校復帰を目指した指導や、ふれあい学級への入級を推進します。 ②ふれあい学級に通学している児童・生徒に対して、在籍校への復帰支援を行います。	①学校・登校支援室・教育支援センター等が連携し、不登校状態にある児童・生徒に対して、望ましい環境が提供できるよう支援を行いました。(指導室) ②教育支援センターの経験豊富な指導員による指導を通じて、在籍校への復帰支援を行いました。(指導室)	○	指導室												

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和5年度時 主な担当課名
128	特別支援教室	子・若 貧困対策	障害のある幼児・児童・生徒の生活や学習上の困難を改善または克服するため、適切な指導および必要な支援を行います。	東小・中学校を除く全小・中学校に設置している特別支援教室において、支援が必要な児童・生徒に対し適切な指導を行っています。（学務課）	○	学務課
129	学力向上対策事業 「スタディアシスト」	子・若 貧困対策	市民センター等において、小学4年生から中学3年生までの児童・生徒を対象に、教育課程時間外の土曜日に、算数・数学・国語の学習を支援します。	中学校3年生の高校等への進学を目的とし、民間教育事業者による外部人材を活用し、放課後や長期休業中に、S&Dたまぐーセンターおよび福祉センターにおいてスタディ・アシストを実施した。	○	指導室
130	学校の放課後補修事業「ステップアップクラス」	子・若 貧困対策	市内小・中学校において、小学4年生から中学3年生までの児童・生徒を対象に、放課後等に、算数・数学・国語の学習を支援します。	市内小・中学校 26校において、年間100時間から120時間程度、在籍校において学習を支援した。	○	指導室
131	放課後子ども教室「タヤケランド」	子・若 貧困対策	小学校の余裕教室等を利用し、放課後にスポーツや文化活動のほか、様々な体験活動や学習機会を提供するとともに、地域住民との交流活動を行います。	小学校16校で体育館や教室、校庭を使い児童の安全安心な放課後の居場所として実施することができた。また、様々なスポーツや文化活動、体験活動、学習などの機会を提供することができた。スタッフも公募で募集した地域住民などにより安全に開催できた。 延べ参加者数は20,112人でした。	○	子育て応援課

②生活の支援

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和5年度時 主な担当課名																								
132	自立相談支援事業	貧困対策	生活上での様々な問題に応じた継続的な相談を行い、必要な支援を相談者と一緒に考え、具体的なプランを作成し、自立に向けた支援を行います。	項目名：相談者数(※年度末現在) 単位：人 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>321</td><td>562</td><td>401</td><td>379</td><td>1,075</td><td></td></tr></table> 項目名：延べ相談件数(※年度末現在) 単位：件 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>3,599</td><td>8,779</td><td>9,075</td><td>7,312</td><td>5,835</td><td></td></tr></table>	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	321	562	401	379	1,075		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	3,599	8,779	9,075	7,312	5,835		○	地域福祉課
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																									
321	562	401	379	1,075																										
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																									
3,599	8,779	9,075	7,312	5,835																										
133	家計改善支援事業	貧困対策	相談者が自分自身で家計の問題を把握し、適切な家計管理ができるよう支援します。	項目名：支援者数(※年度末現在) 単位：人 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>12</td><td>15</td><td>15</td><td>9</td><td>4</td><td></td></tr></table>	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	12	15	15	9	4		○	地域福祉課												
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																									
12	15	15	9	4																										
134	住居確保給付金事業 (再掲No.151)	貧困対策	離職等により住居を失った方または失うおそれがある方で、就職に向けた活動をするを条件に、一定期間、家賃相当額を支給します。	項目名：支給決定者数(※年度末現在) 単位：人 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>2</td><td>134</td><td>100</td><td>40</td><td>21</td><td></td></tr></table>	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	2	134	100	40	21		○	地域福祉課												
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																									
2	134	100	40	21																										
135	乳幼児ショートステイ事業	貧困対策	保護者が病気、出産、出張等で一時的にお子さんを養育できない場合に、保護者によって7日間を限度に保育します。	保護者の病気、出産、出張等の理由により、延べ140人の乳幼児ショートステイの利用がありました。	○	子育て応援課																								
136	子ども食堂推進事業	貧困対策	民間団体等が行う地域の子どもへ食事および交流の場を提供する取組について、その経費の一部を補助し、各中学校区に一か所程度の実施を目指します。	子ども食堂推進事業として、7団体に補助金の交付をいたしました。	○	子育て応援課																								

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和5年度時 主な担当課名												
137	育児支援ヘルパー事業	貧困対策	産前・産後の母親の心身が不安定な時期であつて、他に支援する者がなく、母親の体調不良、育児ストレス等で家事および育児が困難な妊産婦に対して、無料でヘルパーを派遣します。	育児支援ヘルパーの利用者が6世帯21回の利用がありました。	○	子育て応援課												
138	こんにちは赤ちゃん事業 (再掲No. 65)	次世代 貧困対策	生後4か月までの乳児がいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等を把握することにより、子育て家庭の孤立化を防ぎ、乳幼児の健全な育成環境を整備します。	おおむね生後4か月までの乳児がいる家庭を対象として、家庭訪問を行いました。(訪問対象数 556件、訪問数 540件、転出等16件)	○	こども家庭センター												
139	ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業	貧困対策	義務教育終了前のお子さんのいるひとり親家庭で、生活環境の激変により日常生活に支障がある場合、ホームヘルパーを派遣します。	項目名：ホームヘルプサービス実施世帯数 単位：件 <table><tr><th>R元年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>R4年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>3</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>4</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 R5は4件申請があり事業を実施した。 離婚後の生活の激変や職業訓練校等への通学など、支援の必要なひとり親世帯に有益と思われます。	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	3	0	0	0	4		○	子育て応援課
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度													
3	0	0	0	4														
140	市営住宅	貧困対策	住宅に困窮する世帯を対象として市が家族向けの住宅を設置・管理します。	令和5年度の空き室募集は7世帯入居し、うち1世帯が子育て世帯でした。 市営住宅は老朽化した住宅の用途廃止のための移転先確保等の理由により、数年前に比べ募集戸数を大幅に減らしていますが、ニーズに応じて可能な限り供給に努めます。	△	住宅課												

③保護者に対する就労支援

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和5年度時 主な担当課名
141	ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業 (再掲No. 153)	貧困対策	就職に必要な技能習得や資格の取得をするため、指定の教育訓練講座を受講し、終了した場合、受講費用の一部を支給します。	3人に支給済 現在勤務している職場で時給が上がる等、資格を活かした就職・キャリアアップが促進されました。	○	子育て応援課
142	ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金 (再掲No. 154)	貧困対策	就職に有利な国家資格（看護師等）を取得するために養成機関において修業する場合、給付金を支給します。	高等職業訓練促進給付金 24人 高等職業訓練修了支援給付金 4人に支給済 資格取得後、職場でのステップアップや更に上位の資格取得につながっています。	○	子育て応援課
143	ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金 (再掲No. 123、155)	子・若 貧困対策	ひとり親家庭の親および児童が高卒認定試験の合格を目指す場合に、民間事業者が実施する対策講座の受講にかかる費用の一部を支給します。	申請者1名 開始時給付金、修了時給付金、合格時給付金を支給しました。 就職に高卒資格を求める企業が多いため、高校中退者等に有益と思われます。	○	子育て応援課
144	母子・父子自立支援プログラム策定等事業	次世代 子・若 貧困対策	ひとり親家庭の母または父を対象に、個々の状況に応じた就職支援を母子・父子自立支援員が行います。	3件実施 ハローワークと連携。生活環境を整えながら就職支援を行い、2件採用に結びつけることができました。	○	子育て応援課
145	就労支援員による就労支援	貧困対策	生活に困窮している方を対象に、専門の相談員が、履歴書の書き方や面接の対応の相談、仕事に就くための支援をハローワークと連携して行います。	生活保護受給中の子育て世帯の就労支援について、相談業務を8世帯実施しました。 うち3世帯については就職に繋がり、さらにその中の2世帯は生活保護脱却につながりました。	△	生活福祉課

④経済的支援

No.	事業名	区分	事業の内容	評価と理由、実施状況、改善点等	担当課 評 価	令和5年度時 主な担当課名												
146	児童扶養手当	貧困対策	ひとり親家庭等の児童が育成される家庭の生活の安定と自立の促進を図るため、児童扶養手当を支給します。	項目名：助成金額 単位：百万円 <table><tr><th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr><tr><td>694</td><td>549</td><td>540</td><td>504</td><td>475</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在（R元の支払い対象は15か月分） ひとり親家庭等の児童を養育している保護者に対し、適正・迅速に手当の支給を行いました。	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	694	549	540	504	475		○	こども育成課
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度													
694	549	540	504	475														
147	児童育成手当	貧困対策	ひとり親家庭等の児童の福祉の増進を図るため、児童育成手当（育成手当）を支給します。	項目名：助成金額 単位：百万円 <table><tr><th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr><tr><td>375</td><td>369</td><td>361</td><td>341</td><td>338</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 ひとり親家庭等の児童を養育している保護者に対し、適正・迅速に手当の支給を行いました。	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	375	369	361	341	338		○	こども育成課
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度													
375	369	361	341	338														
148	ひとり親家庭等医療費助成制度（マル親医療証） （再掲No.100）	貧困対策	ひとり親家庭等の保健の向上に寄与するとともに、ひとり親家庭等の福祉の増進を図るため、医療費の一部を助成します。	項目名：助成金額 単位：百万円 <table><tr><th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr><tr><td>53</td><td>54</td><td>55</td><td>54</td><td>56</td><td></td></tr></table> ※ 年度末現在 ひとり親家庭等に対し、医療費の自己負担分の一部の助成を適正に行いました。	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	53	54	55	54	56		○	こども育成課
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度													
53	54	55	54	56														
149	私立幼稚園等・保護者への補助金（幼稚園施設等利用費補助金・保護者補助金・入園料補助金） （再掲No.120）	貧困対策	私立幼稚園や幼稚園類似施設または認定こども園に在籍する園児の保護者の負担を軽減し、幼児教育の振興と充実を図るため、所得に応じて補助金を交付します。	私立幼稚園や幼稚園類似施設または認定こども園に在籍する園児の保護者の負担を軽減し、幼児教育の振興と充実を図るため、所得に応じて補助金を交付しました。	○	こども育成課												
150	受験生チャレンジ支援貸付事業 （再掲No.121）	子・若 貧困対策	学習塾等の費用や高校や大学などの受験費用について、一定所得以下の世帯の方に無利子で貸付を行うことにより、中学3年生や高校3年生またはそれに準じる家庭への支援を行います。	広報「おうめ」およびホームページへの掲載や、市のLINE等のSNSで発信することでこの事業内容の周知に努めた。令和5年度においては、中学3年生および高校3年生等の家庭から、延べ513件の相談があり、120件の貸付を行った。	○	地域福祉課												
151	住居確保給付金事業 （再掲No.134）	貧困対策	離職等により住居を失った方または失うおそれがある方で、就職に向けた活動をする条件に、一定期間、家賃相当額を支給します。	項目名：支給決定者数（※年度末現在） 単位：人 <table><tr><th>R元 年度</th><th>R2年 度</th><th>R3年 度</th><th>R4年 度</th><th>R5年 度</th><th>R6年 度</th></tr><tr><td>2</td><td>134</td><td>100</td><td>40</td><td>21</td><td></td></tr></table>	R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度	2	134	100	40	21		○	地域福祉課
R元 年度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度	R6年 度													
2	134	100	40	21														
152	母子および父子福祉資金・女性福祉資金貸付	貧困対策	母子・父子家庭の方等を対象に、修学、就学支度等の各資金をお貸しします。	18人に貸付を行いました。 ひとり親家庭の子の高校・上位学校への進学・修学に寄与しています。	○	子育て応援課												
153	ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業 （再掲No.141）	貧困対策	就職に必要な技能習得や資格の取得をするため、指定の教育訓練講座を受講し、終了した場合、受講費用の一部を支給します。	3人に支給済 現在勤務している職場で時給が上がる等、資格を活かした就職・キャリアアップが促進されました。	○	子育て応援課												
154	ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金 （再掲No.142）	貧困対策	就職に有利な国家資格（看護師等）を取得するために養成機関において修業する場合、給付金を支給します。	高等職業訓練促進給付金 24人 高等職業訓練修了支援給付金 4人に支給済 資格取得後、職場でのステップアップや更に上位の資格取得につながっています。	○	子育て応援課												
155	ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金 （再掲No.123、143）	貧困対策	ひとり親家庭の親および児童が高卒認定試験の合格を目指す場合に、民間事業者が実施する対策講座の受講にかかる費用の一部を支給します。	申請者1名 開始時給付金、修了時給付金、合格時給付金を支給しました。 就職に高卒資格を求める企業が多いため、高校中退者等に有益と思われます。	○	子育て応援課												